

犬の鼻はなぜぬれている？

嗅覚を高め、体温調節の機能も

問 犬の鼻がぬれているのはなぜですか。乾いていると体調が悪いと言う人もいますが、本当でしょうか。

答 犬の鼻がぬれている理由には、いくつかの生理的・機能的な要因があります。まず、鼻の表面にある粘液は、嗅覚を高める役割を果たしています。粘液は空気中のおい分子を捉えやすくし、嗅覚受容体へ効率的に届ける手助けをします。人間よりもはるかに鋭い嗅覚

を持っているのはそのためです。

また、犬の鼻がぬれているのは、体温調節の一環でもあります。犬は人間のよう汗をかきことができないため、足の裏や鼻など限られた部位で体温を下げようとします。健康な犬の鼻は通常ひんやりして湿っており、鼻をなめて湿らせる行動も体を冷やすための自然な習性です。さらに、鼻の湿り気によってほこりや異物が付着しやすくなり、鼻の中へ

の侵入を防ぐフィルターのような働きもします。

鼻が一時的に乾燥していても必ずしも異常とは限りません。睡眠中や暖房の近くにいるときなどは自然に乾くことがあります。しかし、長時間乾いていて、さらにひび割れや出血などがある場合は、脱水症状や感染症、発熱などの体調不良

の兆候かもしれません。

鼻は犬にとって「体のセンサー」のような役割を担っています。普段との違いに気付くことが、早期の健康トラブル発見につながります。気になる症状があれば、迷わず獣医師さんに相談してください。（山田 輝貴・県獣医師会員）

<月1回掲載します>

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。

